

(2) 函南町拠点循環コミュニティバス事業について（報告）

市街地における交通空白地域の解消、伊豆箱根鉄道駿豆線伊豆仁田駅の交通結節点としての活用、町施設への足の確保、地域住民の日常生活における足の確保を目的に、函南町地域公共交通計画に位置づける「拠点循環コミュニティバス運行継続」を実施します。令和6年度より現在の形態で実証運行を開始し、令和8年度末まで継続する予定となっております。

また、実証運行終了後の令和9年度に向け、地域住民の皆様からご意見をいただきながら、今後の拠点循環コミュニティバスの在り方について検討してまいります。

令和8年度の運行については現行の内容のまま、広報・周知の強化を図りつつ継続運行としたいと考えております。

1 道路運送法における事業位置づけ

法第21条

一般貸切旅客自動車運送事業者及び一般乗合旅客自動車運送事業者は、次に掲げる場合に限り、乗合旅客の運送をすることができる。

第2項

一般乗合旅客自動車運送事業者によることが困難な場合において、一時的な需要のために国土交通大臣の許可を受けて地域及び期間を限定して行うとき。

2 運行方法

定時定路線（往復運行）

3 1乗車あたりの運賃（一律運賃）

(1)大人（中学生以上）300円（※令和6年度は200円）

(2)障害者（障害者1名に対し付添人1名まで）100円

(3)小学生100円

(4)未就学児（小学校入学前）無料

4 運賃支払方法

(1)現金

(2)福祉タクシー等利用券（函南町役場福祉課で配布）

(3)地域交通利用券（函南町役場福祉課で配布）

5 運行車両

ジャンボタクシー1台（乗合定員9名）

6 起点及び終点

「函南町役場」及び「道の駅伊豆ゲートウェイ函南」

7 運行本数

12便（道の駅行6便、函南町役場行6便）

（※令和6年度は5便ずつ計10便）

8 運行期間（予定）

令和8年4月1日（水）から令和9年3月31日（水）

9 運行実績について

令和6年度 函南町拠点循環バス運行実績について								
令和6年度	運行日数 (日)	道の駅行き 乗車人数 (人)	道の駅行き 乗車人数/便 平日(人)	道の駅行き 乗車人数/便 休日(人)	役場行き 乗車人数 (人)	役場行き 乗車人数/便 平日(人)	役場行き 乗車人数/便 休日(人)	合計 (人)
4月								
5月								
6月	30	218	1.5	1.3	198	1.4	1.1	416
7月	31	335	2.2	2.0	251	1.7	1.3	586
8月	31	307	2.1	1.7	230	1.5	1.4	537
9月	30	275	2.1	1.3	261	2.1	1.1	536
10月	31	330	2.2	2.1	279	1.8	1.7	609
11月	30	317	2.1	2.2	277	1.9	1.7	594
12月	31	307	2.2	1.5	251	1.7	1.4	558
1月	31	259	1.9	1.2	223	1.8	1.4	482
2月	28	237	1.8	1.4	230	1.5	1.3	467
3月	31	293	2.1	1.5	268	1.8	1.6	561
計	304	2,878	2.02	1.62	2,468	1.72	1.40	5,346
月平均		287.8	1.82		246.8	1.56		535
日平均		9.5			8.1			18

令和7年度 函南町拠点循環バス運行実績について								
令和7年度	運行日数 (日)	道の駅行き 乗車人数 (人)	道の駅行き 乗車人数/便 平日(人)	道の駅行き 乗車人数/便 休日(人)	役場行き 乗車人数 (人)	役場行き 乗車人数/便 平日(人)	役場行き 乗車人数/便 休日(人)	合計 (人)
4月	30	241	1.6	0.8	217	1.5	0.6	458
5月	31	230	1.5	0.7	189	1.3	0.5	419
6月	30	230	1.4	0.9	197	1.3	0.6	427
7月	31	246	1.4	1.1	192	1.1	0.8	438
8月	31	253	1.6	1.0	228	1.3	1.1	481
9月	30	205	1.1	1.2	186	1.0	1.1	391
10月	31	228	1.4	0.9	176	1.1	0.6	404
計	214	1,633	1.43	0.94	1,385	1.23	0.76	3,018
月平均		233.3	1.19		197.9	0.99		431
日平均		7.6			6.5			14

10 今後について

これまで拠点循環コミュニティバスについては、運行実績やアンケートをもとに便数の増加やダイヤの変更、ルート最適化など、様々な変更をしながら実証運行を続けてまいりました。

令和8年度については、引き続き運行継続するとともに、沿線地域の会合への参加や意見交換の場を設けるなど、地域住民との対話の機会を増やしていきたいと考えております。

そして、頂いたご意見やこれまでの実績を考慮し、令和9年度以降の運行形態の変更などに向けた準備の年にしていきたいと考えます。